

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

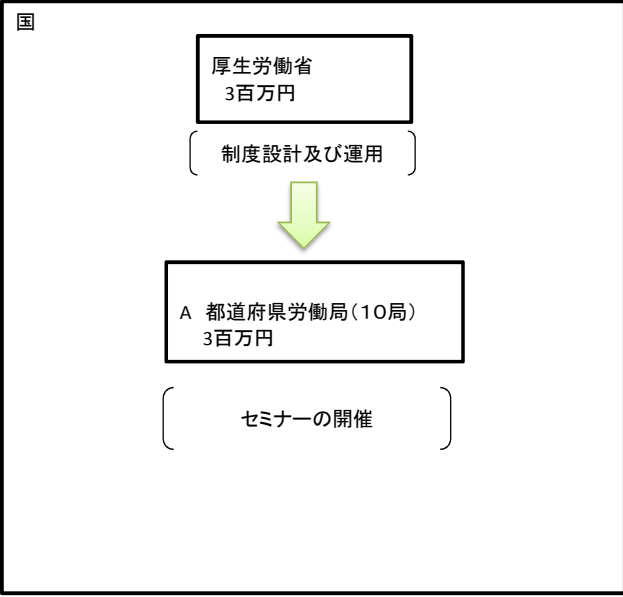
事業名	精神障害者に対する雇用管理の好事例の普及			担当部局庁	職業安定局雇用開発部			作成責任者			
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	障害者雇用対策課地域就労支援室			地域就労支援室長 田中 歩			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国10ブロックにおいて精神障害者の雇用管理ノウハウに関するセミナーを開催し、事業主等の理解を深め、その普及を図る。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国10ブロックにおいて精神障害者を雇用している企業の担当者等を招いたセミナーを開催し、精神障害者に対する雇用管理ノウハウの普及を図る。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	7	7	7	4	0				
	執行額	3	3	3							
	執行率 (%)	43%	43%	43%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	セミナー参加者において「精神障害者の雇用管理ノウハウを学ぶことができた」と評価した割合 90%以上		セミナー参加者において「精神障害者の雇用管理ノウハウを学ぶことができた」と評価した割合		成果実績	%	93	91	85	-	-
					目標値	%	90	90	90	-	90
					達成度	%	103	101	94	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	セミナー参加者				活動実績	人	1,828	1,517	1,199	-	
					当初見込み	人	1,400	1,400	1,400	1,400	
単位当たりコスト	算出根拠					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト=X=Y X=執行額(百万円) Y=セミナー参加者(人)				単位当たりコスト	千円	2	2	3	3	
				計算式	X/Y	3百万円/1,828人	3百万円/1,517人	3百万円/1,199人	4百万円/1,400人		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	諸謝金		0.6	0	平成28年度限りで廃止のため。						
	職員旅費		0.3	0							
	委員等旅費		1	0							
	庁費		2.1	0							
計		4	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること							
	施策		高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度	
		精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を就労した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合	実績値	%	69.3	69.1	71.8	-	-	
			目標値	%	60	69.3	65	-	68	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	精神障害者の雇用管理ノウハウの普及を図ることにより、労働者の特性に応じた雇用の安定・促進に資する。									
	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、一般の求職者と比べて就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的を達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、精神障害者の更なる雇用促進に向けて、企業全体に対する精神障害者の雇用管理や職場定着に係るノウハウなどの普及啓発を図るものであり、今後の精神障害者の一層の雇用促進を図る上で、国が実施すべきである。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「障害者制度改革の推進のための基本的な方向について（平成22年6月閣議決定）」（精神障害者の雇用義務化、職場における合理的配慮の提供の確保等）に対応するため、必要な支援措置を講じる必要があることから、事業目的の妥当性及び重要性の観点から優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	セミナーの実施に必要な最低限の費用となっており、水準は妥当と考える。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	セミナーの実施に必要な経費に限定している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	今年度から目標の内容を厳格化したため目標値を下回ったが、セミナー受講によって、精神障害者の雇用管理ノウハウを学ぶことができた者が多数となった。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国が行う職業紹介や雇用対策と一体的に実施することにより高い実効性を確保している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	セミナー参加者が当初見込みを下回ったため目標には達しなかったが、目標値の86%に当たる人数がセミナーに参加した。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）	○			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課	575	中小企業等に対する障害者雇用相談支援、啓発事業		
	厚生労働省職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課地域就労支援室	576	精神障害者・発達障害者の雇用ノウハウの蓄積・普及を図るためのモデル事業		
点検・改善結果	点検結果	平成27年度においては、セミナー参加者数、セミナー参加者において「精神障害者の雇用管理ノウハウを学ぶことができた」と評価した割合ともに目標をわずかに下回ったが、適切に企業全体に対して精神障害者の雇用管理や職場定着に係るノウハウの普及が行われた。			
	改善の方向性	本事業は平成28年度限りで終了する予定。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成28年度をもって終了すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	新23-029	平成24年度	875

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.愛知労働局			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	会場費等	0.7			
計		0.7	計		0

